

データが語る **希望** の在り処

希望と現実に関するアンケート調査から

何事につけても希望するのは絶望するよりも良い。

可能なものの限界をはかることは誰にもできないのだから。

ゲーテ

未来をイメージする色

Q:あなたにとって、「未来」は何色ですか
最もイメージに近い色を一つ選んでください。



未来をイメージする色(調査結果)

希望をもっている

水色
黄
オレンジ
白

1位

2位

3位

4位

希望をもっていない

水色
黄
白
灰

希望学宣言



希望をテーマとする社会調査データの分析

「希望の保持」 希望をもっている人
についての分析をおこなう

調査の概要

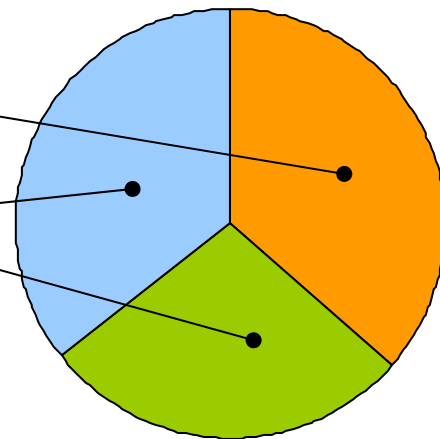
調査名	職業の希望に関するアンケート		
調査方法	インターネットを利用したWeb調査		
調査地域	東京23区及び政令指定都市 / 都市規模5万人以上 / 都市規模5万人未満		
抽出台帳	Yahoo!モニター		
抽出方法	層化多段抽出		
調査対象	20代・30代・40代男女		
調査期間	5月26日～5月31日		
発信数 / 回収数	1620 / 875	54.0%	

回答者の属性(年代・最終学歴)

A 20代 32.8%

B 30代 35.2%

C 40代 32.0%



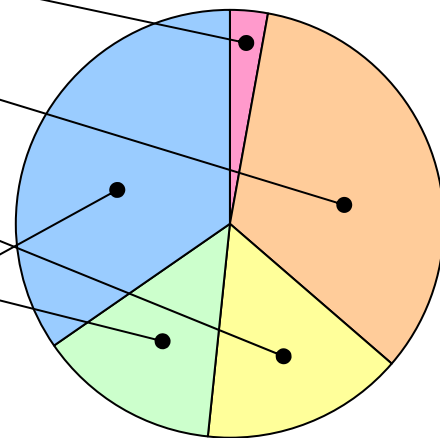
A 中学校卒 2.9%

B 高校卒 33.5%

C 専門学校卒 15.3%

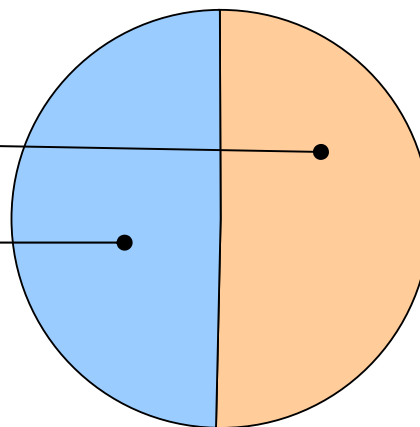
D 短大・高専卒 13.7%

E 大学・大学院卒 34.6%



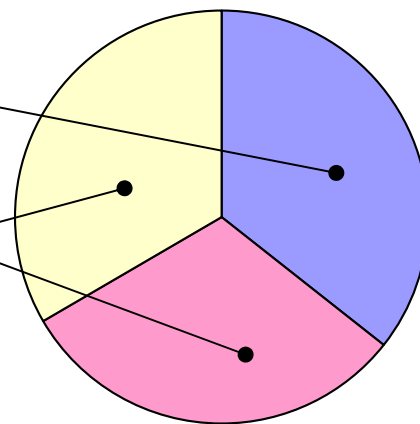
回答者の属性(性別・都市規模)

男性	50.3%
女性	49.7%



東京都特別区部および

政令指定都市	35.5%
5万人以上	31.1%
5万人未満	33.4%



調査内容

1. どんなことに希望を？

仕事、学習、恋愛、結婚、友人、家族、遊び、
社会貢献、健康、容姿

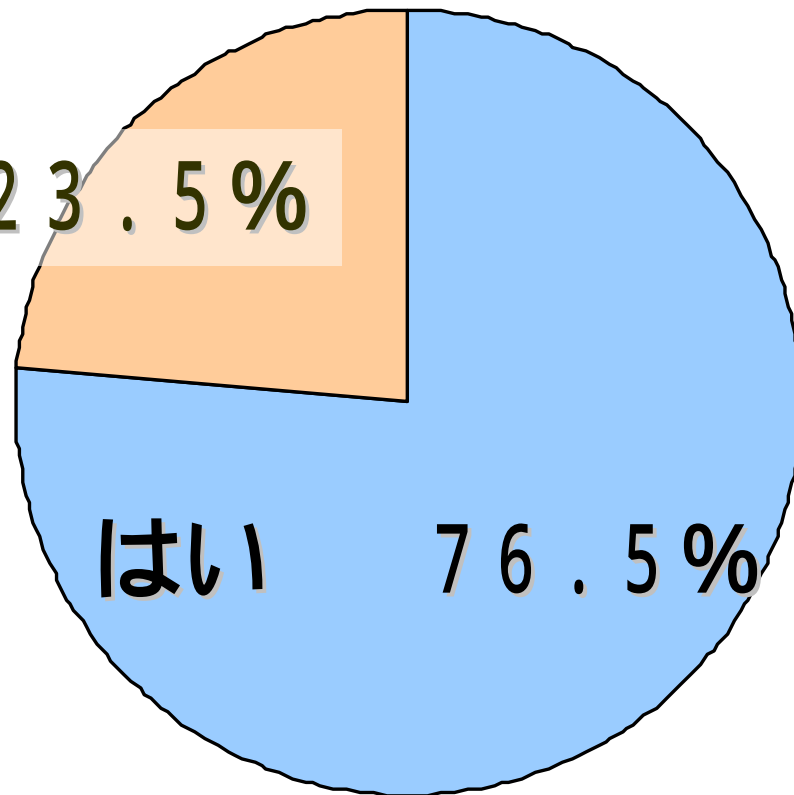
2. どんな人が希望を？

性格、性別、年齢、収入、家族との関係、友人関係

3. 希望があることは何と関連がある？

Q: 将来に希望はありますか？

いいえ 23.5%



はい 76.5%

ここでいう「希望」とは...
将来実現してほしいこと
実現させたいこと

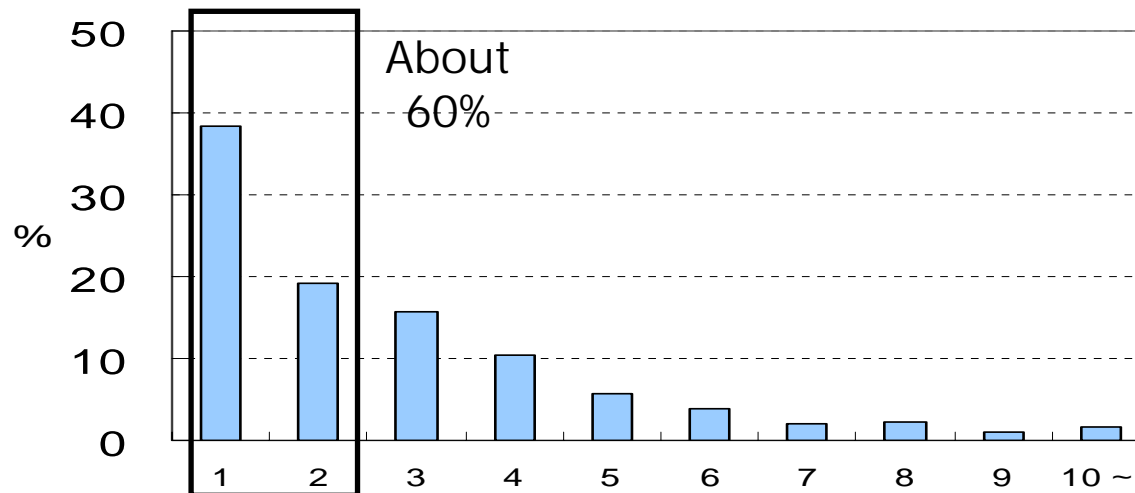
約4分の3が「将来に希望がある」と回答

Q:あなたがもっている希望は

何に関する希望ですか？(MA)

選択肢

■仕事	■学習	■社会貢献
■恋愛	■家族	■友達関係
■結婚	■健康	■その他
■遊び	■容姿	



約6割の人は希望数が2つまで

希望の内容

- 希望が、1つの場合

仕事 (38%) 家族 (32%)

- 希望が、2つにまたがっている場合

仕事と家族 (31%)

仕事と遊び (9%)

仕事と結婚 (8%)

仕事と学習 (7%)

希望がある人とは、 どのような人だと考えられているか？

[性格や気質]

楽天的な人？

好奇心が強い人？

[個人の属性]

若い人？

男性よりも女性？

結婚している人？

お金持ち？

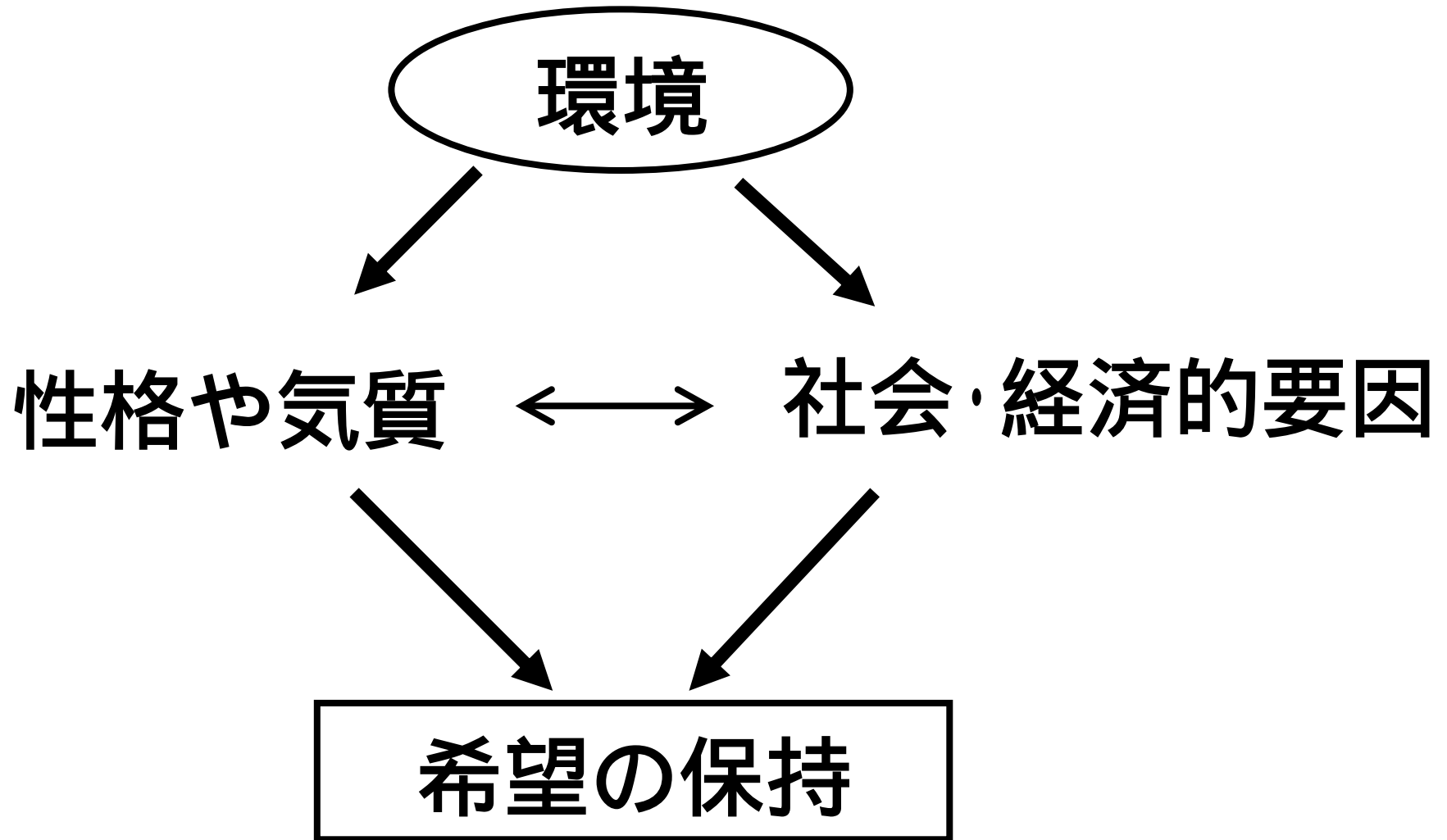
[周囲との関係]

家族に愛されて育った人？ 友だちが多い人？

[経験]

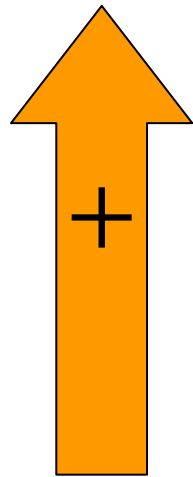
自分の希望を叶えてきた人？ (成功者？)

分析の枠組み



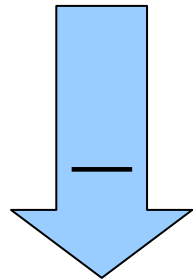
性格や気質との関連

性格や気質と希望には統計的な関連性がある



- 独立心が強い
- チャレンジ精神がある
- 好奇心が強い
- 地道にするのは苦手

「はい」と
答えるほど
希望がある



- 優柔不断だ
- いい加減だ

「いいえ」と答える
ほど希望がある

しかし、楽天的なことは、希望とは関連がなかった

属性・周囲との関係・経験との関連

社会・経済的要因と希望にも統計的な関連性がある

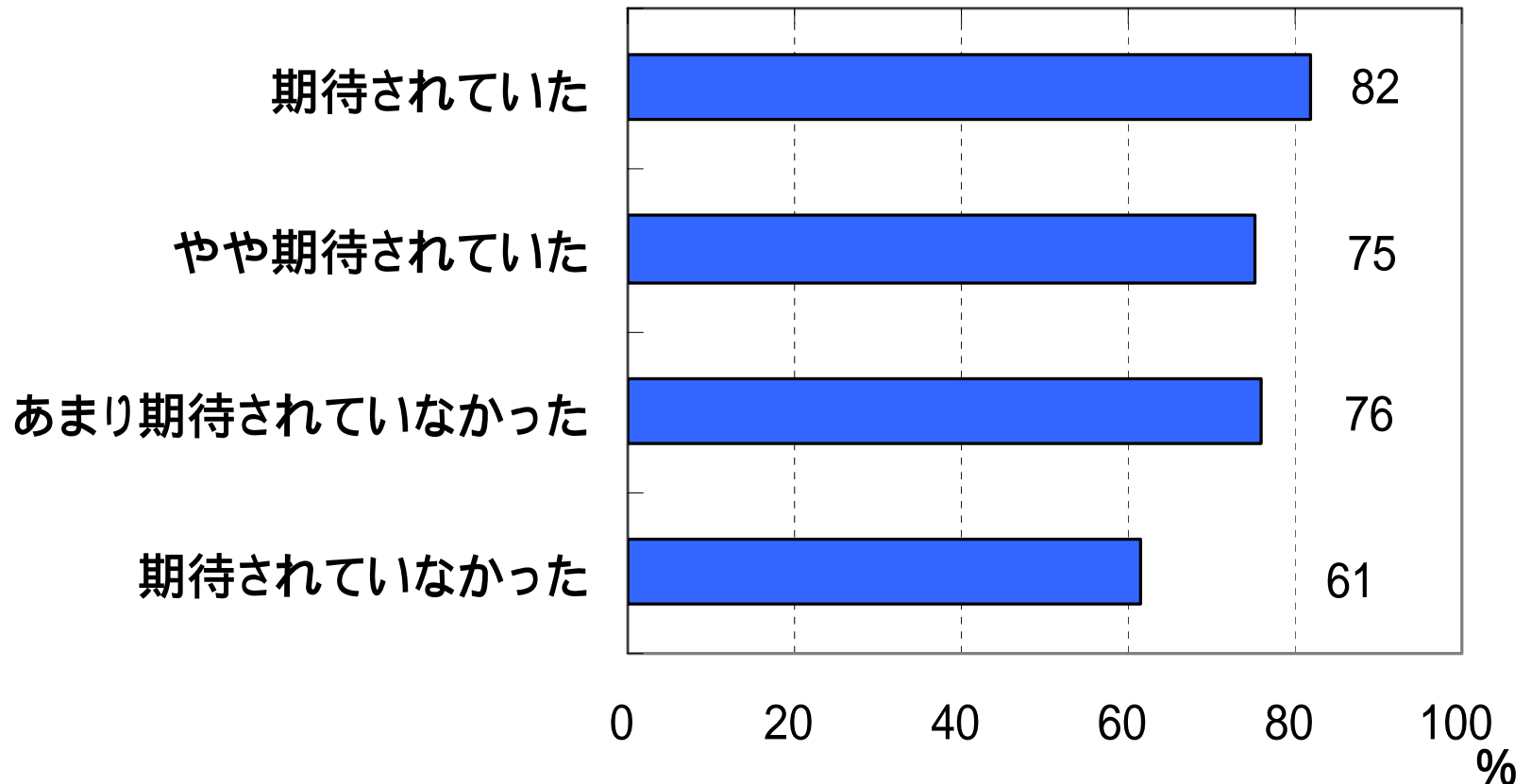
1. 属性 : 年齢 性別・婚姻・収入
2. 生育した家族の状況
中3時経済状況・家族の愛情・家族の期待
3. 職業志向
子どものころの希望職業の有無・就業経験
4. 社会的ネットワーク : 友だちの数
5. 挫折経験の有無

は関連性があった要因

年齢と希望の関係

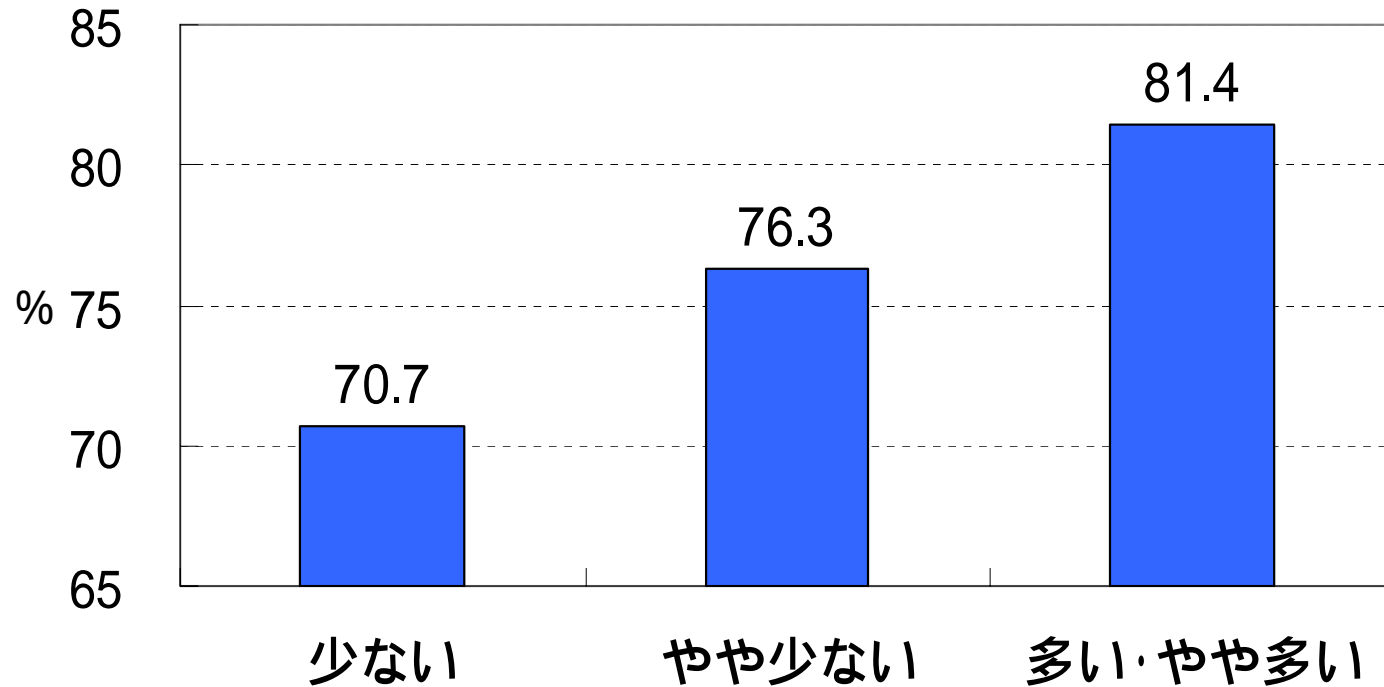
年齢が若い人ほど希望をもつ傾向がある

家族からの期待と希望の関係



子どものあるころ、家族に期待されていた人の方が、
希望をもつ傾向がある

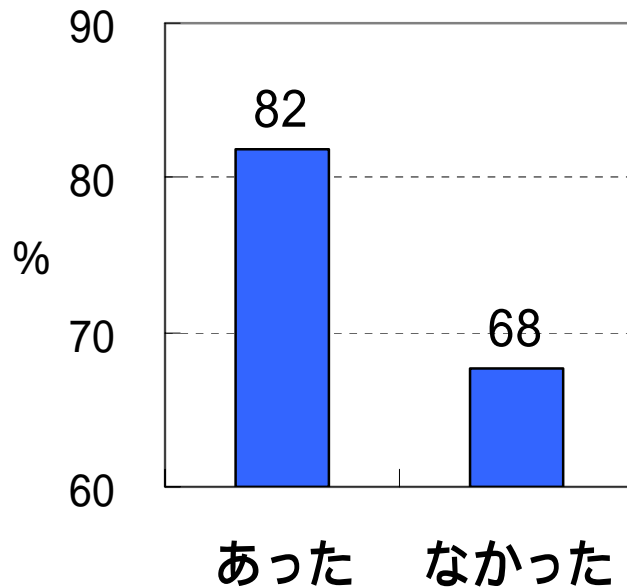
友だちの数と希望の関係



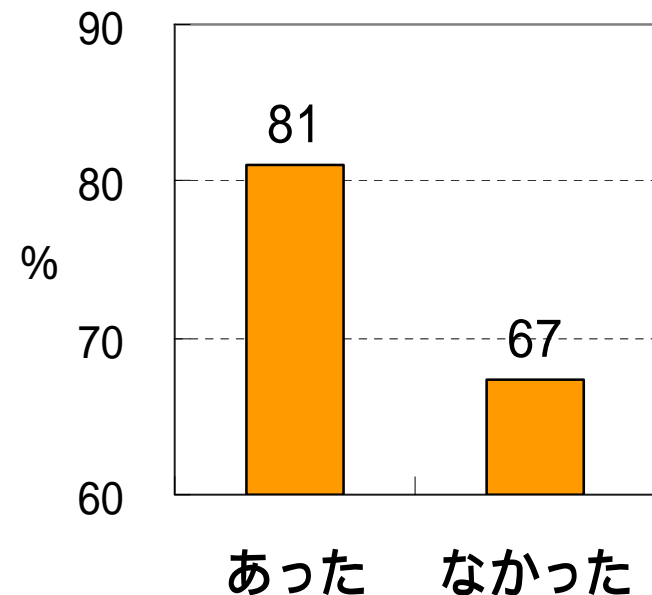
友だちが多い人の方が、希望をもつ傾向がある

子どもの中の職業希望と現在の希望

小学校6年生のころの職業の希望

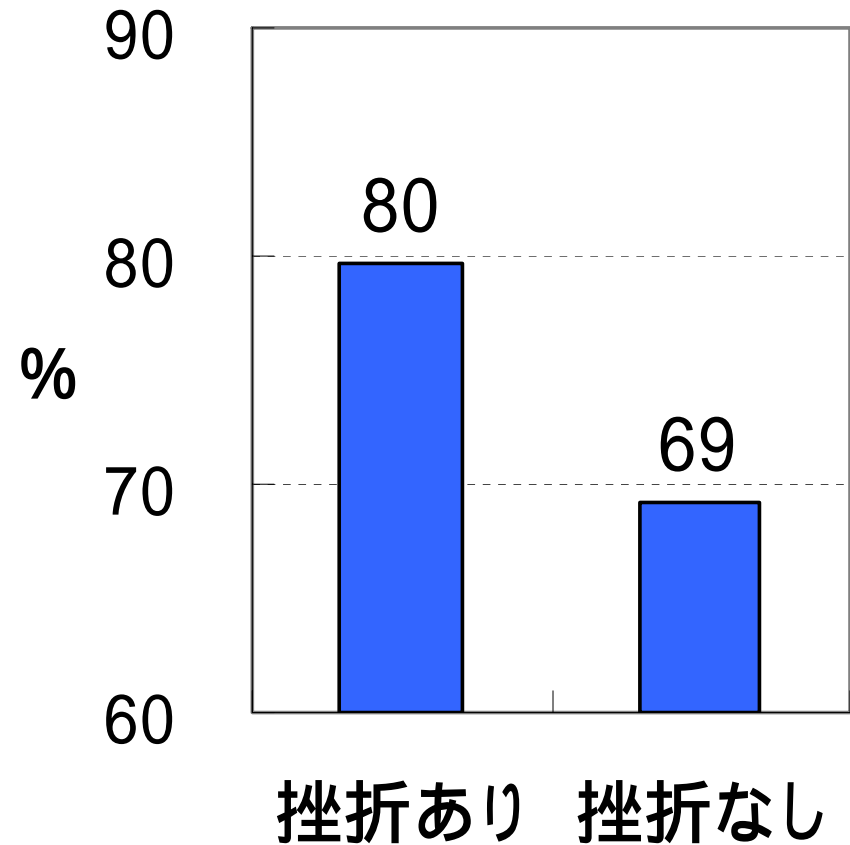


中学校3年生のころの職業の希望



子どもの中に職業への希望があった方が、
希望をもつ傾向がある

挫折経験と希望との関係



人生の中で挫折したことがある人の方が、現在、希望をもつ傾向にある

希望がある人とは

[性格や気質]

独立心が強い人

好奇心が強い人

チャレンジ精神がある人

地道にコツコツするのが苦手な人

[個人の属性]

若い人

[周囲との関係]

子どもの時に家族から期待されていた人

友だちの多い人

[経験]

子どものころに希望する職業があった人

挫折を経験していた人

性別や結婚しているか、子どもの時に裕福だったか、楽天的な性格か、現在高収入か、どうかなどは関連がなかった

希望の在り処としての職業？

調査結果から

- 仕事の中に、希望をみいだす人が多かった
- 子どものころ希望の職業があった人の方が、現在でも希望をもっている



希望職業に就くことが重要なのか？

子どものころ、どんな仕事を望んでいたのか

■ 小学6年生のころの希望職業

男子

- 1位 トラック・電車の運転手、パイロットなど
- 2位 スポーツ選手
- 3位 警察官、消防官、自衛官

女子

- 1位 幼稚園の先生や保育士
- 2位 小学校、中学校、高校の教師
- 3位 小説家、作家、マンガ家

子どものころ、どんな仕事を望んでいたのか

■ 中学3年生のころの希望職業

男子

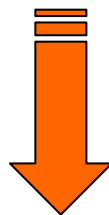
- 1位 機械・電気や建築・土木関係の技術者
- 2位 SE、コンピューターのプログラマー
- 3位 スポーツ選手

女子

- 1位 薬剤師、栄養士、看護師、臨床検査技師
- 2位 小学校、中学校、高校の教師
- 3位 小説家、作家、マンガ家

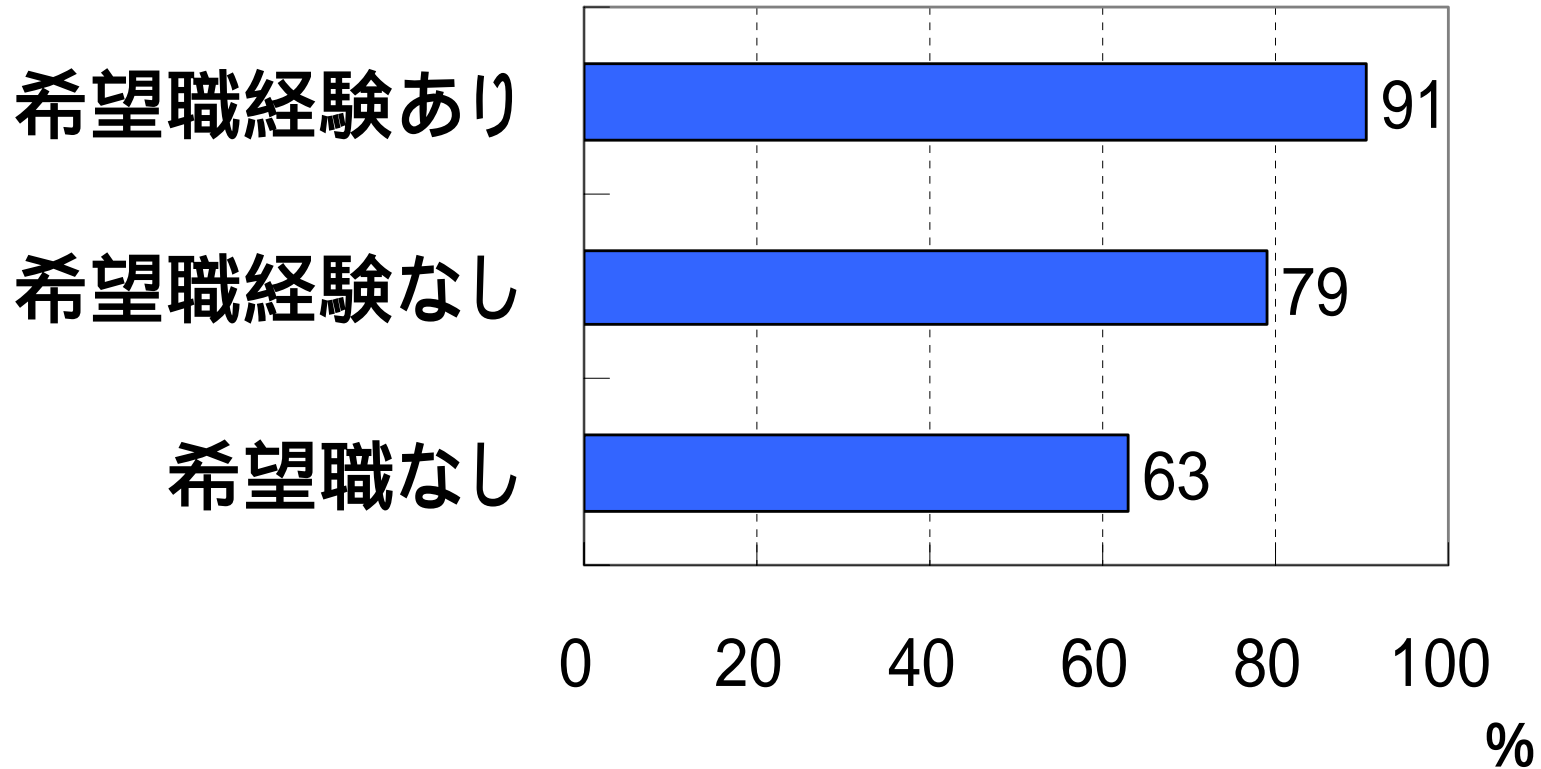
子どもの中の職業・・・叶わぬ夢？

- 小学6年生のころの希望職業に就いたことがある人は、8%
- 中学3年生のころの希望職業に就いたことがある人は、15%



ほとんどの人は希望職業に就いていない

小6時希望職への就職経験と希望の関係



子どもの中の希望職業と、 現在の希望との関係

現在、希望をもつ傾向は、以下の順で強くなる

子どもの中、希望職業なし

希望職業には就けなかった

希望職業に就いたことがある

たとえ希望職業に就かなくても、

希望があったことは重要

むすびにかえて

- 希望と挫折の繰り返し経験 -

- 希望の生成の場としての仕事の可能性
- 希望が達成されることは重要だが、
達成されなくても希望をもつことが重要か
- 希望の挫折から次の希望がうまれる可能性
- 希望の生成を支える家族や友人の存在



- 職業以外の希望の生成の場の可能性の模索
- 希望の保持のメカニズムについての検証へ
- 今後の本調査へ